

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	香川県教育委員会事務局 生涯学習・文化財課 さぬき市教育委員会事務局 学校教育課		
所在地	香川県さぬき市	運営形態	市運営型 合同部活動
運営主体	さぬき市教育委員会事務局学校教育課		
課題	学校数の減少に伴い教職員の減少が進み、人員や専門性の面で外部指導者の協力が必要な部活動が増加している。吹奏楽部については、専門外の楽器指導や外部指導者のマネジメントが部活動顧問の負担となっている。		
事業目標	市内3中学校の吹奏楽部員が楽器ごとに集まり、専門的スキルを持つ講師の指導のもと、休日に合同部活動を行うことで、生徒の技能及び人間力の向上を図るとともに、教員の働き方改革を進める。また、実践を通して、地域クラブ活動への移行に必要な条件を明らかにする。		
団体・組織等の連携			
拠点校等	さぬき市立さぬき南中学校、さぬき市立志度中学校、さぬき市立長尾中学校		
活動場所	さぬき市立さぬき南中学校、さぬき市立志度中学校、さぬき市立長尾中学校		
活動概要	<p>【活動1】楽器別の合同部活動による専門的な指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月から1月までの期間に、17回実施。 ・ 3つの中学校の吹奏楽部が楽器別に集まって活動。 ・ 各楽器専門の外部指導者8名が、10～14回の合同部活動で指導。 <p>【活動2】各学校の部活動に外部指導者を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月から8月までのコンクールに向けた活動の期間に17回実施。 ・ 元中学校教員である外部指導者を各学校の休日の部活動に派遣。 		

○本事業による成果

- ・専門的な指導を受けることができ、生徒の技術や知識が向上した。
- ・基礎・基本の練習の仕方を学ぶことができ、学校での練習に生かすことができた。
- ・他校の生徒と交流することで、互いに刺激を受け、学び合うことができた。
- ・合同部活動では、部活動顧問の専門外の楽器を指導するという精神的負担が軽減された。各学校の部活動への指導者派遣では、部活動顧問の精神的負担が軽減され、時間的負担も一部軽減された。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・合同部活動については、活動場所への移動に時間を要し、生徒の負担となったため、活動時間を3時間から2時間に短縮し、効率的な練習方法を工夫した。
- ・休日の合同部活動での練習が平日の学校部活動に生かせるよう、また、異なる学校の生徒の実態に応じた練習になるように、休日の合同部活動での指導は、基礎的・基本的内容を中心に行った。
- ・アンケート結果から、生徒及び保護者、部活動顧問は、他校の生徒と学びあえることに合同部活動の意義を感じていることが明らかになったため、基礎的・基本的な練習に加えて、生徒どうしの交流を大切にしたい練習を行うようにした。
- ・どの中学校も、新1年生の部員が多く、8月のコンクールには学校ごとに出場することになった。6月から8月までの期間は、学校ごとの練習を充実させる必要があったため、合同部活動は休止し、各学校の部活動に外部指導者を派遣し、合奏の指導を行った。
- ・3月に3校合同で開催する発表会を計画し、そこで演奏する共通の曲を合同部活動でも練習できるようにした。

○運営上の工夫

- ・部活動顧問、外部指導者代表(兼コーディネーター)、運営主体(さぬき市教育委員会学校教育課)が協議して、コンクールや大会等にも配慮した合同部活動の実施計画を立てた。
- ・合同部活動の練習場所への移動は、保護者の送迎を基本としたが、可能な限りマイクロバスを運行して負担軽減に努めた。(合同部活動17回のうち、9回運行)
- ・合同部活動は、学校(部活動顧問)、生徒、保護者の時間的負担が大きく、負担軽減のため、活動時間を3時間から2時間に変更した。
- ・周知内容にずれが生じないよう、各学校、生徒(保護者)、外部指導者への連絡は、運営主体(さぬき市教育委員会事務局学校教育課)が文書で行った。

○継続的な運営に関する課題

- ・合同部活動を実施する際、活動場所への移動に時間がかかるため活動時間が短くなったり、保護者等に送迎の負担がかかったりする。生徒が自分で参加するためにはバスの巡回等、移動手段の整備が必要。
- ・練習場所は、近隣住民への影響や楽器の保管・移動の面から、学校が適当である。しかし、音楽室や教室等の使用を学校関係者不在時に使用することが難しく、教員の働き方改革につながりにくい。
- ・事故等、緊急時の対応について、迅速で適切に対応できる体制の整備が課題。バスの乗車確認や活動場所の巡回を行う人材が必要。
- ・外部指導者や財源の確保。参加者からの徴収金額の検討。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・「さぬき市部活動地域移行準備委員会」を開催し、さぬき市地域クラブ活動の目標や目指す形、地域移行のスケジュール等について検討する。
- ・学校、生徒、保護者、地域への説明を行う。
- ・新たな部活動ガイドラインや兼職兼業の仕組みをつくり、指導者を公募し、人材バンクづくりに着手する。
- ・可能な部活動から、休日の地域クラブ活動を実施し、持続可能な地域クラブ活動の在り方について検証する。外部指導者の確保や部員数等の状況から、実施する部活動を検討する。当面は、教育委員会事務局が運営する。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	93名
	募集方法	学校を通じて各校の吹奏楽部員に文書を配布
指導者	人数等	10名
	募集方法	学校長、コーディネーターの推薦
参加者の移動手段		保護者による送迎等を基本とする。 可能な限りマイクロバスを運行。
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金 1,626円/時間、交通費 市の旅費規定に基づき支給
	その他	事務担当者謝金 897円/時間 マイクロバス運転士 1,500円/時間
活動財源	会費	なし
	その他	なし
スケジュール	基本活動	土・日あるいは休日に不定期に実施。 午前9時30分から11時30分(8月までは午前9時から12時まで)
	年間	5月から1月まで、楽器別の合同部活動を17回実施。 6月から8月まで、休日の学校部活動での合奏指導を17回実施。
保険加入等		スポーツ安全保険 生徒・指導者 800円/年(保護者、指導者の負担なし)

【活動の様子（写真添付）】

